

ゆり組

— 2学期の目標 —

- ◎虫や落ち葉や木の実など、身近な自然に親しみ、遊びに取り入れようとする。
- ◎仲間との簡単なルールや約束を守って、自ら遊びに取り組む

— 活動内容 —

園外保育



(健康な心と体、自立心・協同性・道徳性、規範意識の芽生え、思考力の芽生え、数量・図形、文字等への関心・感覚。自然との関わり、生命尊重、豊かな感性と表現・言葉による伝えあい、社会生活との関わり)

- ・バスに乗って園外保育に出かける。
園外・バスでの約束事を確認した。公園へ行く道中も季節を感じ、木の実や色のついた葉っぱを嬉しそうに見つけていた。トンネルや電車、パトカーなど自然だけでなく道路にも興味を示していた。
- ・くまそ広場を探検し、展望台から見えたものを次々に言葉にしていた。歩いていくと、様々な形・色のどんぐりがあり、次々に集めていた。友だち同士で見せ合ったり、どれだけ集められたか競争したり等、各々楽しんでいた
- ・園外の遊具のため、初めに遊び方を確認し約束事してから遊び始める。友だちと関わり合いながら喜んで体を動かしていた。
- ・なだらかな芝生の坂から駆け下りる遊び、広場で鬼ごっこやるまさんがころんだをした。体を十分に動かし、自然を全身で感じる事ができた。帰る時間になると「また来るからね」「明日も来たい!」と嬉しそうに話していた。

思い出を描こう♪



(自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)

- ・園外保育での思い出を描く活動をした。みんなですべて円になり、どんなことをしたか・何があったかを口々に出し合った。
- ・思い出を振り返った後は、一番楽しかったことを発表しあった。迷いながらも、「バスに乗ったこと」「遊具で遊んだこと」「どんぐりを拾ったこと」「展望台で飛行機を見つけたこと」等たくさんの思い出を発表することができた。友だちの発表を聞いて共感しあう姿も見られた。
- ・発表した楽しかったことを自分なりに描き、表現した。友だちや好きなキャラクターと遊んでいるところを描いたり、トンネルの中の様子を描く子どもがいたり様々で、思い出を口にししながら、記憶をたどって描く姿があった。また、友だちの絵を見て自分の絵に取り入れることも増え、友だちとの関わりを楽しみながら描いている子どももいた。
- ・描き終わると、「～を描いたよ」とみんなに向けて発表をし、絵を見ながら園外保育での思い出を楽しく語り合うことができた。

— 2学期の反省 —

- ◎一つひとつの行事を楽しみ自分なりに表現することができた。自分で考えることが増えた分、友だちと意見が食い違ったときに気持ちがぶつかってしまうことがある。
- ◎体を動かすことを楽しみ、短縄やフラフープ・ボール遊び等たくさん挑戦することができた。毎日挑戦し続け、少しずつ上達することができた。

— 3学期の目標 —

- ◎友だちと気持ちを伝えあい、イメージを共有して遊びを進めていく。
- ◎活動の中で、自分らしさを発揮し頑張ろうとする。